昭和46年1月1日

山口県吉敷郡阿知須町
発行 阿知須町役場
電話1・〒754—12
印刷 阿知須砂合よしの印刷

広報あじすと

No.230

町の住民登録人口
(45年12月31日現在) 前月比
世帯 1,973世帯 +3
人口 8.117人 −7
(男 3.817人 女4.300人)
国勢調査(昭和45年10月1日)
世帯 2.007世帯
人口 8.035人
(男 3.730人 女 4.305人)

まず道路整備から

動き出した広域市町村圏

共同で補修機械を購入

宇部小野田地域(宇部、小野田、美祢市、山陽、楠町、近く本町にも配置され阿知須町)が広域市町村圏に指定されたのは四十四年十月でしたが、その後、この関係市町が相談した結果まず道路を整備することになりました。

そして、最初の事業として共同で道路補修のためのグレーザー四台、ローラー三台、土砂運搬小型トラックを購入することになりました。

グレーザーは道路のデコボコを削る機械。ローラーは舗装道路を修理するときアスファルトを圧する機械です。土砂運搬車はグレーザーで削った土砂を運ぶもの。

この費用は総額二千万円ですが、このうち一千万円は国庫補助。残り七五%は起債(長期返済)という好条件です。グレーザー一台だけで四百万円しますが本町が今年出すのは六十余万円です。グレーザー一台はいつも阿知須に配置しておくので、今後は道路のデコボコを常時、削ることができるようになります。

なお広域市町村圏に指定されたため本町には今年度交付税(国が市町村に配分するお金)が千三百三十八万円も余分に配分され一般財源として使えるようになっています。

土地開発基金条例を制定

十二月町議会

十二月定例町議会は十二月八日開かれ、条例の制定や改正、予算補正など十一議案を審議し、全議案とも原案どおり可決されました。

主な内容は次のとおりです

◇宇部・小野田広域市町村圏道路補修機械管理一部事務組合の規約を定めることについて=道路補修機械を共同で購入し、共同で管理することになり、これに関係する三市三町が共同処理するための組合をつくることについて規約をきめた

◇阿知須町土地開発基金条例の制定について=公共用地取得の円滑化をはかるため基金をつくる。額は五百万円。

◇阿知須町使用料・手数料徴収条例の一部改正=阿知須沖に貨物船が入ったときの浮標作業手数や船をつなぐときの浮標使用料を値上げ。

◇四十五年度一般会計予算補正=三千八百万円余追加して総額二億九千二百九十三万六千円となった。

土路石川の逆水橋(八幡宮近く)の橋の補修工事に五百八十万円。木床農道(引野)百万円。木床農道(引野)と黒谷導水路の工事費関係八百二十四万二千円。その他事務費などを計上。

その他、国民健康保険特別会計は二万五千円追加して総額四千三百三十九万三千円。簡易水道特別会計は三十三万円追加して総額四千五百八十九万五千円に改めた。

◇山口県旧市町村職員恩給組合資産管理組合規約の一部改正など五議案=南陽町が市に昇格し町村の組合からはずれるための議案。

八十歳以上に町が年金

新年度計画 三人目以降の子にはお祝い金

町では新年度から八十歳人目以降に生まれた赤ちゃんにはお祝い金を贈る計画です。

これは社会のために長年つくされた人々に感謝の気持を示そうとするもので、八十歳の老人には年三千円と合わせると十四事業に及んでいます。施工個所、事業量、事業費は次のとおりです。

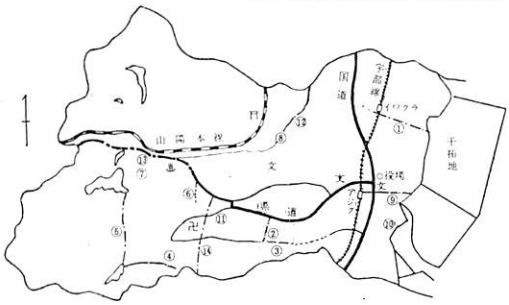
(事業費単位 十万円)

工事名	事業費
①岩倉農道舗装新設 九〇六M	三四
②引野農道舗装新設 八八〇	二七
③岡山農道改修 四一〇	七四
④黒谷水路改修 三八二一	三一
⑤黒谷導水路改修 五〇〇	四一
⑥木床農道改修 五七〇	四〇
⑦万年水路災害復旧 二八	四
⑧逆水橋災害復旧 二一	六四
⑨都市計画街路駅通り線改修六〇	三〇
⑩築地公園新設	(県)
⑪井関川災害関連事業	(県)
⑫土路石川災害関連事業	(県)
⑬県道善和阿知須線改修	(県)
⑭宇部農免道路	(県)

舗装や新設改良など

十四個所で土木工事

町内いたるところで公共土木工事が進められています。現在、工事中のものと三月末までに着工するもの



新春祝譜

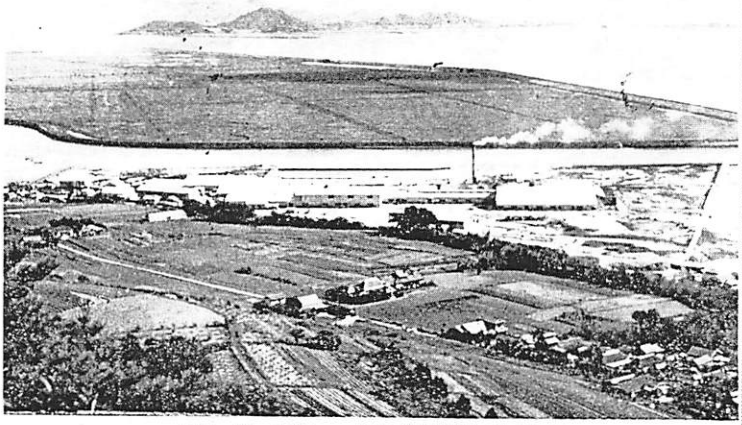
佐々木 賞

暁の阿知須の浜に
打ち寄せる波は高くも
健かな児らの面は
うるわしき初日に映えて
新玉の命に光る

鴨飛びし阿知須の丘に
吹きすさぶ風は厳しも
たのもしく若人は立つ
熱き血のたぎりと共に
猪の年の願いは燃えて

激動の年の初めに
諸人の力合わせて
ぬば玉の闇の彼方に
ひたすらに探し求めん
この町の永遠の栄を

(阿知須小学校長)



干拓、海、工場……町の夢は無限にひろがる

賀正

みんなでつくる
住みよい社会

ソット あなたに

うつくしい町に生きるしあわせ

阿知須の朝はすがすがしい。ましても秋穂半島から海に映える朝日をみるとき、阿知須に住むしあわせをしみじみ感じます

この自然をいつまでも保ちたい。人間らしい生活がしたい。それを思うのは町民みんなの願いではないでしょうか。昨年は緑地管理条例を制定したところ他市町村もぜひまねをしたいといっていろいろ問い合わせがきました。「花と緑と太陽と小鳥のふるさと」それは町長が今月号の座談会で話っていますが、この恵まれた自然を守り、育てていく。その中で私たちがもっと豊かな生活をしていく。そこにしあわせが生まれてくるのではないでしょうか。

今年もあなたにとよい年でありますようと願うと共に、町づくりがさらに進められるよう協力をお願いします。

1月の行事予定

11日	農業委員会	(町役場・午後1時)
12日	育児相談	(町役場・午後1時)
14日	心配ごと・精神薄弱者巡回相談所 (町役場・午前10時〜午後2時)	
19日	成人式	(阿中・午前9時)
19日	母子保健推進員研修	(町役場・午後1時)
20日	青年学級	(町役場・午後7時)
21日	母親学級	(町役場・午後1時30分)
22日	父親学級	(町役場・午後7時)

不用犬は毎週水曜日に役場で引取ります。

わが町"阿知須"を語る

座談会

自然の美を備えた都
人情こまやか、小鳥の楽園

△△△

遠くにありて思う〝ふるさと〟

アンケート

「ふるさとは遠くにありて思うもの」という詩がありますが、阿知須を離れてみる阿知須はどのようなところなのでしょうか。本町を離れてご活躍中の方々のうち広報紙をお届けしている人十五名を選んでアンケートしてみました。回答はわずかでしたが、ふるさとへの年賀状としてご覧ください。

【質問】
❶ 阿知須を離れた年月
❷ 出身部落
❸ 職業
❹ 阿知須の一ばんの思い出
❺ 広報紙からみて現在の阿知須をどう思うか
❻ 阿知須がどうあってほしいと思うか
❼ その他気づき
（順不同）

上重　英二　41歳　②岩倉区
静岡県清水市入江若松町　③巴川製紙（株）工場次長
一四一七
①昭和二十七年
④子供の頃に貝掘りに行き何時もたくさんとれたその頃。
⑤いろいろ町の発展に努力されている様子を感じる
⑥美しさを残した中で、自由諸国GNP（国民総生産）第二位の国の町にふさわしい発展。但し、地形上の難しさは多いと思う。（特に用水の問題）
⑦あの広大な土地の干拓地の利用が、全ての鍵である周防灘工業地帯の一部として何とかならないものかと他所に住んでいても考えるときが多い。

今井　梅一　52歳
鎌倉市扇ガ谷東佐助
八九七の八
①昭和十一年四月
②中村区
③海上自衛隊練習艦隊司令官・海将補
④「海」と「遠石木造船所」の風景。
心あたたまる人情。
⑤時勢の移り変わりにおくれまいとする意欲的な町の姿がよくうかがえてうれしく思っています。
⑥一面では古いものが残ってほしいと思いますし、また他面では時勢のテンポにおくれないでほしいと思います。
⑦町広報紙を今後もつづけてほしいと思います。

上は　今井さんの思い出、遠石造船所はいま干拓地の中
下は　中尾、川崎さんの思い出、17夜祭の山車

辻田　洋子　26歳
三重県松阪市船江町
四六八の五
①昭和四十四年
②岩辻区
③主婦（主人はセントラル硝子勤務）
④万年池、千鳥が浜等自然を相手に遊んだこと。
⑤阿知須町もだんだんと農漁業から離れサラリーマン家族がふえつつあるのだと感じています。
⑥自然を大切にし、緑のある清潔な町。とくに川の汚染に気をつけていただきたい。

辻田さんの思い出、万年池はゴルフ場の中

川崎　寛　42歳
東京都葛飾区東金町
五の五〇の一六
①昭和二十六年
②恵比須区
③（株）カワサキ製作所社長
④十七夜祭、魚市場の下での海水浴、小学校の校舎
⑤地方の一自治体として立派に成長していると感じます。特に共同墓地は他の範だと思います。
③虫がよい願いですが、緑を失なわない海のキレイな町であってほしいと思います。都市計画等立派に出来ているかと思います。特に道路の幅員を考えて整備してほしいと思います。
⑦自分の生まれた町が立派に発展することは本当にうれしいことです。私共もお世話になったご恩返しを考えています。阿知須出身で東京在住者がわかればお知らせ下さい。

（前ページ続き）

婦だけでさびしく暮らしておられる人も多いので、その人たちが共同で炊事できるようなものも必要です。むかしの墓地はお化けが出るような感じでしたが、これからは野外音楽賞や町民プールも備えて先祖と現在の人が一緒に慰め合える場にしようと思っています。
社会教育は青年団の活動を助成していかなければならないのは勿論ですが、青年自身も時代にそった活動をしてほしい。私はせめてハワイぐらいは旅費ぐらいは助成し、見聞を広めてきてもらいたい気です。ワイキキの浜にはクズかごはあるがゴミはない。公園でも弁当を食べたらそのごみは捨り籠から墓場までという自宅に持ち帰って処理するのです。そんな環境を体験することも必要です。経費が伴わないときは山口県出身者の家庭に泊らせていたいとをお願いしてこの会を閉じます。

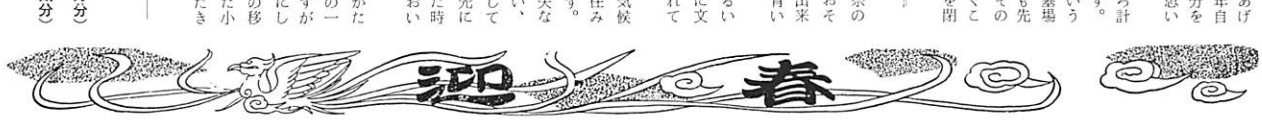
弘中　蔵　36歳
名古屋市熱田区新宮坂
三九マルヒロゴム靴店
①昭和二十九年
②東区
③ゴム履物店経営
④海や山、それに幼な友達は一日も頭から離れない
⑤町民全員の祭や運動会など現在都会になくってしまったものがたくさんあり、私も阿知須で生活出来るなら一日でも早く帰って生活したい。
⑥海をよごす工場等を作らず出来るなら臨海工業都市として、衣料、農産物等の加工工場を誘致すること。
⑦都会は人の生活するところでなくて人が生きて行くだけのところだと思います。特に子どもにとっては一日でも早く阿知須に出来たらと思いません。
③日立金属KK技術員
④子どものころ十七夜祭の山車に乗ったり、夜おそくまで管絃船を見物出来たことなど。それに青い海、きれいな砂浜
⑤まとまりのある明かるい町だと思います。特に文教面に阿知須はすぐれていると思います。
⑥海、山に近くしかも気候にも恵まれた本当に住みやすい町だと思います。この恵まれた自然を失なわず、公害の心配ない、明るい町として発展してもらいたい。何年か先に我々が阿知須に帰った時も今の自然を残しておいてほしいものです。
⑦今後、阿知須も何年かたって周防灘工業地帯の一翼をになうと思いますが古いものも残すようにしていただきたい。町の移り変わりなどまとめた小冊子を発行していただきたい。

野村　龍二　40歳
東京都世田谷区祖師谷
二ノ三六二住友社宅
①昭和二十四年
②寺河内区
③住友金属鉱山（株）技師
④特に思い出といわれても困りますが、やはり小学校の運動会、学芸会、遠足といった諸行事が印象に残っています。
⑤きれいな砂浜の海がなくなったことには限りない寂しさを感じます。しかし平和な着実なあゆみをうれしく思っています。
⑥温和な気候、公害のない町、素晴しい条件が揃っています。農業も漁業も商業も工業もバランスのとれた文化的な町として発展しますように

中尾　征夫　29歳
埼玉県熊谷市十六間
六〇〇日立金属社宅
Ⅰ棟一〇五号
①昭和三十四年
②網田北区

今月の納税

国民健康保険税（一月分）
町県民税（四期分）



人権擁護委員・行政相談員
阿知須中学校　校長　光永　賢三
阿知須小学校　校長　佐々木　靖
井　関小学校　校長　乗安　克己
小郡警察署阿知須警察官派出所　主任　清水　正之
阿知須町消防団　団長　三好　康三
阿知須町交通安全協会会長　野村　岩雄
阿知須町体育協会会長　中尾　光人
理事長　中田　野上八千代
阿知須婦人会　会長　木原ヤヨエ
井　関婦人会　会長　網田　浩司
阿知須町青年同志会会長　林　佳和
阿知須町老人クラブ連合会　会長　徳田　真秀
阿知須町白菊会　会長　藤田　節子
阿知須町遺族会　会長　飯田　宏史
阿知須町更生保護婦人会　代表　中尾　菊子
阿知須町農業協同組合　理事長　伊東　隆一
阿知須漁業協同組合理事　長久　清忠
阿知須町商工会　会長　西中　豊
阿知須支店支店長　白石　順治
山口銀行阿知須支店　支店長　小川　康治
吉南信用金庫阿知須支店　支店長　三好　正之
阿知須共立病院　院長　小川　康治
阿知須同仁病院　院長　小古郷東　縄中　房一
（区長兼納税組合長）
小古郷西（工藤警治）
小古郷南　山田　秀雄
前山　佐々木一夫
祝　尾上　潔
国平　浜西　政人
南　昌明　寿雄
恵比須　浜田　勝
築地　松崎　智
東　林　貫三
網田南　縄田　悦男
網田北　樽井　調
中村　新田　浦部　光二
吉村　磯部　信男
西条　悦三　中村キミエ　崇子
寺河内　春雄　中嶋浩太郎　孝一
渡西　正司　中村　伝治　治男
浜　明夫　岩本　逸男
砂合一　池村　勉治　砂合三　豊弐
砂合二　磯金　勉二　飛石　源弐
岩倉西　邦夫　藤田本　伊藤
岩倉西前　幹彦　藤田石　岩本
岩倉上　石丸　降助　田辺之丞
岩倉辻　上野　正昌　中田　信男
岩倉東　上野　昌則　中下　孝一
旦　重田　元　藤下川　勇治
旦門　藤井　真作　藤丸　敦子
旦北　上野　敏子　中村八重子
旦西　竹原　明子　伊藤　安子
旦松　藤井　竹松　高一　松崎　豊
岡　上野ヤス　高郎　古谷ヤヨ子
浜　上野　古川　太助　岩谷　哲夫
浜　松永　計　辰夫　西村　正夫
迫　松　沢　一　藤谷アヤコ
表　松根　和　丸山　節子
関　山田　雄　片山　源子
河　山口　太郎　大田　倫和
内　敦川　近助　田代　妙子
川　村　久之　芥川　清子
口　重田　勇　村長キヨコ
関　原　貞一
向　村　安頼一
引　畑　在野　青
仙　畑　野　青

阿知須短歌会詠草

お題「家」によせて

阿知須短歌会

藤重　幾代

へちま棚も組みてこの家に住み初めし若きさおいを今いとほしむ

潮崎　一雄

三十余年経たるもいまだ白壁にわが落書の跡は残れり

原田　英子

幾度か普請重ねしこの家に残る柱の黒く光れり

益弘喜久子

わが家のめぐりに三度植えかえしババは今年の実を落し初む

上重　朝子

退職して建てし我が家を若き等に譲りて吾は隠居とならむ

田村　艶子

立ち除きの隣家は解けあらわなる我が家にひねもす日さし明るし

石田サダ子

嫁き来て経し七年或る時は夫より家主に従うことありき

原田　陽子

古き家に伝わり来たる習わしに母は寒夜に襖風呂立てり

部坂　秩子

京都にて入りし茶房にかかりいる北条秀司の色紙見飽かす

藤永ミツノ

わが家にかえし亀の子十匹を学校の庭の池に贈りぬ

中本　幸枝

朝の窓雲輝きて光さす傷癒えし吾れ家にかえりぬ

松代　二郎

朝の宮詣で来りて澄む空に屋根反る山門を仰ぎ通れり

兼重　きぬ

岩岬の崖白く陽に光り石屋の住家今も殖えざりき

正司ウメノ

葦葺の屋根そのままの古里の家に来りて心やすらぐ

渡辺　宮子

防風垣を高くめぐらし出雲路の社造りの屋根夕映に浮く

隅田美智子

仕事を終え心いそぎてペタル踏むにしぐるる彼方わが家見え来つ

砂村ヤス子

着物縫う吾に隣の普請せし家に嫁来る噂する友

大野キヌエ

納屋の土間のくぼみくぼみに溜りいるもみがら踏みてあるじ出で来る

県下で二番目の指定
本町が「青申」のモデル地区

青色申告推進大会（上）と国税局から西中商工会長へ推奨の状の贈呈

阿知須町が青色申告のモデル地区に指定され、一月から商工業者の青色申告を推し進めることになりました。

青色申告は税法の中で定められた自主的な申告制度で、事業をしているものが毎日収支を記帳し、それによって損益を計算、自ら税額を算出して、自らが税金を納めようというものです。

町内には三百三十二事業所があり、そのうち二百八十ばかりが青色申告を行なうことになりました。あとは所得税の対象とならないような零細な事業主のためで、実質的には一〇〇％実施ということです。

このため十二月十八日に役場で推進大会を開き、この制度を確実に実施するよう申合わせました。

式では広島国税局や山口税務署から推奨状やモデル地区指定書が中尾町長、西中商工会長らに手渡されました。

なお、モデル指定を受けたのは県下では大島郡久賀町についで二番目です。

心配ごと無料相談所と精神薄弱者更生相談所

法律、教育、その他心配ごとのある人、または精神薄弱者をかかえて悩んでおられる方は遠慮なしにご相談ください。今回は心理的な面の診断や、更生のための相談にも応じます。

主催　町社会福祉協議会

日時　一月十四日（木）午前十時～二時

場所　役場

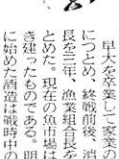
助言者　法務局、県児童相談所、福祉事務所、職業安定所の職員や医師。

人

交通安全協会長
野村康三さん

"みんなの願い、交通安全"のために、ことしも登場願うのは阿知須交通安全協会長。昭和九年に運転免許をとったというから運転歴三十五年。当時、免許を持つのは中尾岩雄氏（現町長）についで二人目だったという。容姿からみて運転を過ごされた人とはどうしてもみえない。知らない人は親子づれをみて兄弟かという。

会長に就任して四年目。本町は他市町村に比べて比較的事故が少ないが、きのうまでなかったからこれからも少ないとはいえない。というのも、本町の自動車所有台数はバイク以上で二千二百台。「陸路調査の世帯数が二千七百台。一世帯に一台の割で所有し、しかも兼用車は軽、普通車合わせて五百台ある。つまり四世帯に一台の乗用車をもつことになり、これは他市町村に比べて非常に割合が高い。それに事業所の車が少ないだけに、マイホームの車が多いともいえる。したがって万一事故が起きた場合は、家族ともども苦境に陥る率が高い。だから、交通事故防止の呼びかけも自ずと声が大きくなる。協会としてはこれまで交通法令の講習、交差点などの反射鏡の設置などにつとめてきた。しかし、講習会に出席するような人は実際には安全運転を心掛ける人が多く、逆に次常者にこそもっと呼びかけがほしいと思うことがある。会の財源の問題も思うようにならず、これからもっと効果のあるすべ、これからもっと効果のあるすべ、これからもっと効果のあるすべを考えていきたいという意向。



早大を卒業して家業の酒造りにつとめ、終戦前後、消防副団長を三年、漁業組合長を四年つとめた。現在の魚市場はそのとき建ったものである。明治初期に始めた酒造は戦時中の企業整備で十九年に廃業、会社勤めなどしたこともあるが三十一年から酒類販売に専念している。男児三人のうちの二人は東京、大阪の会社勤め、三人目は山口市の八木家へ養子に行き、現在奥さんと二人ずまい。寺河内区六十三歳。

ありがとうございました

歳末助け合い運動

恵まれない人にあたたかいお正月を…と町では社会福祉協議会を中心として歳末助け合い運動を進めてきましたが、みなさんのご協力により、十二月二十五日現在十六万七百五十六円のご寄付をいただきました。

集まったお金は、社会福祉事業に関心が深く、その社協議会でまとめて本町の生活保護三十世帯（五十九人）をはじめ、要保護十九世帯（五十八人）、阿知須町出身で現在福祉施設に入所している八人、病院入院患者二十八人、秋穂の養老院秋楽園、宇部市老人ホーム日ノ山寮の入所者八人に早速、お届けしました。受給者の方々の喜びはひとしお大きく心から感謝されました。

寄付された方は次のとおりです。（単位は円）

阿知須婦人会五九、八一二
阿知須共立病院長三好正之　二五、七六〇
角友　孝雄　三〇、〇〇〇
千鶴子（大谷）宇部市小串　一〇、〇〇〇
坂本　信夫　大阪市大淀区
真子（田中）飛石
門出　隆人　宇部市吉見
元枝（谷田）浜表
森重　悟　宇部市居能町
恭子（林）厚狭郡楠町
宮本　敏澄　下松市笠戸島
政子（角友）細南
片山　武昭　河内
晴江（岡野）山口市朝田
宮重　正彦　浜
秀子（西村）赤迫
西岡　拓夫　厚狭郡楠町
摂子（上野）寺河内
林　築地
やす子（斉藤）阿武郡阿東
広瀬　信夫　北祝
真子（横溝）倉敷市連島町
渡辺　清志　小西
登美枝（竹山）宇部市小串
千々松和秀　厚狭郡楠町
紀子（中野）細南
太田　博文　向井関
京子（見藤）広島県世羅郡

出生（おすこやかに）

父の氏名、続柄、子の名、月日、部落

若崎完治、弐女、真子10・15寺河内
喜多川清治長男智治12・5東
中嶋信忠、弐女、瑞枝11・20浜
井上英昭、長男、徹　12・7　旦北
北村虎夫、四男、光夫12・4　前田
田中賢一、長男、秀博12・11向井関
垂村昭文、長男、博之12・10　旦北
末永　清、長女、真弓12・13　仙在
川崎和夫、長女、純子12・14　喜比須
田辺和美、長女、悦子12・22　岩西

死亡（ご悔傷です）

氏名	死亡年月日	年令	部落
岸　静子	12・6	59	西条
原田治郎吉	12・18	86	浜
工藤　警治	12・18	69	小西

△慶弔録▽

婚姻（おしあわせに）

斎藤　益醇　千葉県山武郡
道子（須崎）中村
田辺　和美　岩西
孝子（清水）神戸市生田区
中谷　武夫　徳山市大島
節子（井上）旦北
金清　正己　山口市江崎
敦子（磯中）砂一
岩本　明央　美祢郡美東町
洋子（宗村）浜
井関々　縄南
千鶴子（大谷）宇部市小串
同　従業員　二〇、〇〇〇
所、職業安定所の職員や医師。
更生保護婦人会五、〇〇〇
田中ノシ（西条・故人）一〇、〇〇〇
松崎　清　浜表
美代子（河口）小野田市有帆
三王　敏秀　厚狭郡楠町
光子（田崎）中村
道男　飛石
西田　恵美子（久保田）大津郡油谷町
三輪　晃　大津郡豊浦村
香代子（竹原）旦西
井上　和嘉　美祢郡秋芳町
俊江（中村）砂三
倉住　文行　山口市大内
彰子（秋本）南祝
工藤　等　小西
美代子（落合）山口市嘉川
信吾　河内
恵美子（松岡）下関市吉田地万
石丸　公彦　赤迫
芳子（梶本）宇部市居能町

益金、ボーイスカウトは歳の市に街頭募金し、それを寄付されたのもです。

社会福祉協議会へ

小古郷ハワイアングループ（代表縄吉和夫さん）は社会福祉事業資金として二千円。また工藤敬則さん（小西）は亡父警治さんの香典返しとして一万円を。

有限会社原田商店（代表原田敏幸さん）は三万七百円をそれぞれ町社会福祉協議会へ寄付。

平野貞夫（縄田北）二、一九四
ボーイスカウト阿知須第一団　五、一四〇
阿知須連合青年団　二、八五〇

このうち田中さんは一月に亡くなられたが生前から福祉事業に関心が深く、その遺志をついで遺族から。平野さんは仏前のさい銭。青年団はダンスパーティの収益で寄付。

毎日15分間汗をかくような運動

体力づくり

山口県の人は全国平均より体位が劣っているとのことです。大きく、丈夫な身体をつくりましょう。

親と子が心を結ぶ

家庭の日

毎月第1日曜日